

令和7年度学校評価

保護者

【保護者アンケート】

在籍数（人）	回答数（人）	回答率（％）
663	259	39.1

【集計数】		評価割合（％）				
No.	評価項目	A	B	C	D	空欄等
1	児童は、学校に楽しく通っていると思いますか	36	58	5	1	0
2	児童は、学級の友達と仲良くできていると思いますか	28	65	6	1	0
3	児童は、個々の個性を尊重し、学年や全校の誰とでも仲良くできていると思いますか	18	71	10	1	0
4	児童は、進んで掃除や手伝いをすることができていると思いますか	16	59	24	1	0
5	児童は、友達や先生、地域の人等に元気で気持ちのよい挨拶ができていると思いますか	10	57	31	2	0
6	児童は、困っている人に親切にしたり、助けたりする心が育っていると思いますか	27	68	4	1	0
7	児童は、授業中進んで学習に参加しようとしていると思いますか	21	64	12	2	1
8	児童は、学習内容をよく理解していると思いますか	13	67	18	2	0
9	児童に、家庭学習の習慣が身についていると思いますか	16	49	30	5	0
10	児童は、外遊び等（遊び・課外活動）を通して体を鍛えていると思いますか	21	48	25	6	0
11	児童は、学校の決まりや社会のルールを守って生活していると思いますか	28	65	6	1	0
12	児童は、事故に遭わないよう安全に生活することを心がけていると思いますか	29	63	8	0	0
13	児童は、学校や学年の行事にすすんで参加していると思いますか	40	53	6	1	0
14	職員は、いじめ等の問題に対して、適切に取り組んでいると思いますか	22	69	8	1	0
15	職員は、思いやりの心を持つことを十分に指導していると思いますか	23	71	6	0	0
16	職員は、楽しく、分かりやすい学習指導を心がけていると思いますか	21	74	4	1	0
17	職員は、挨拶の仕方についてよく指導していると思いますか	23	68	8	1	0
18	学校は、特別な支援が必要な児童に対し、能力に応じた支援をしていると思いますか	22	73	4	1	0
19	学校は、保護者や地域の方々とのコミュニケーションを大事にしていると思いますか	23	70	7	0	0

令和7年度学校評価 保護者アンケート評価分析（全体）

評価項目		項 目 分 析	
1	楽しく通っているか	94%がプラスに捉えている。すべての児童が楽しく通えるように、今後も共通理解を図りながら努めていく。	
2	友達と仲よくできているか（学級）	93%がプラスに捉えている。学級担任を中心に、児童の状況の把握に努め、よりよい人間関係が構築できるよう努めていく。	
3	友達と仲よくできているか（学校・学年）	89%がプラスに捉えている。児童の日頃の交友関係等の把握に努め、校内行事等を通して児童同士の交流を図っていく。	
4	掃除や手伝いができているか	75%がプラスに捉えている。役割分担等も含め奉仕活動への動機付けをしっかりと指導し、児童の頑張りを評価していく。	
5	気持ちのよい挨拶ができていますか	67%がプラスに捉えている。基本的な生活習慣の確立には欠かせないため、今後も積極的な意識付けに努めていく。	
6	思いやりの心が育っているか	95%がプラスに捉えている。学校生活も含めた日常生活において大切な心情として、今後も留意しながら指導していく。	
7	進んで学習に参加しているか	85%がプラスに捉えている。今後も積極的に学習に参加する姿勢が継続できるよう、工夫・改善を行っていく。	
8	学習内容をよく理解しているか	80%がプラスに捉えている。児童の実態に応じた指導方法や授業改善等、一層の工夫を行っていく。	
9	家庭学習の習慣は身に付いているか	65%がプラスに捉えている。自ら学習に取り組む習慣の育成に向け、家庭との連携を図っていく。	
10	外遊びなどで体を鍛えているか	69%がプラスに捉えている。コロナ禍が過ぎた現在、児童の健康増進と体力維持のため、外遊びの推奨を続けていく。	
11	きまりやルールを守っているか	93%がプラスに捉えている。交通ルールも含め、守ることの意義が理解できるよう、今後も学年に応じた指導を継続していく。	
12	児童は安全に気を付けて生活しているか	92%がプラスに捉えている。児童の命を守ることは最優先課題である。安全に関する指導は全校で組織的かつ継続的に行っていく。	
13	児童は行事に進んで参加しているか	93%がプラスに捉えている。引き続き、各行事の意義を学年に応じて指導していく。	
14	学校のいじめ等の指導	91%がプラスに捉えている。教師と児童との関わりをより一層大切にし、児童理解と教職員間の共通理解に努めていく。	
15	学校の思いやりの心の指導	94%がプラスに捉えている。引き続き、心の教育の充実に努めていく。	教職員は、生活指導と学習指導を両輪として指導にあたっており、保護者の皆様もその取り組みを好意的に捉えてくださっている。児童一人一人のよりよい成長に向け、指導法の工夫・改善に努めながら、引き続き児童に向かい合っていく。
16	学校の学習指導の心掛け	95%がプラスに捉えている。よりよい授業を目指し、今後も授業改善に努める。	
17	学校の挨拶指導	91%がプラスに捉えている。重点指導事項とし、今後も全校で取り組んでいく。	
18	学校の特別支援に関する指導	95%がプラスに捉えている。個々の教育的ニーズに応じられるよう努めていく。	
19	学校の対外コミュニケーション	93%がプラスに捉えている。学校の様子が伝わるよう、工夫しながら積極的な情報発信を今後も続けていく。	